2019年度

NPO法人ピルコン

活動報告書

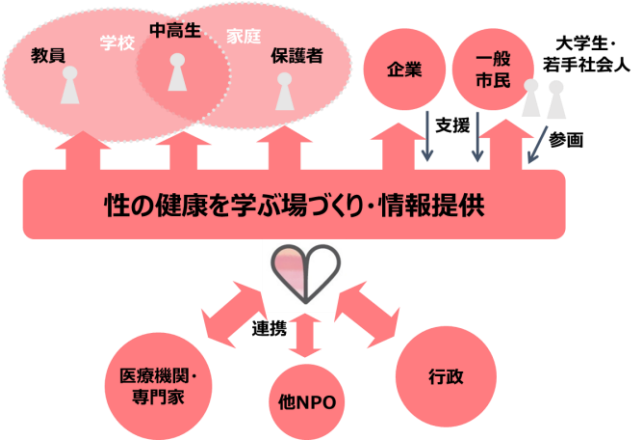
NPO PILCON
ANNUAL REPORT 2019
[2019.4-2020.3]

PILCON
THINK ABOUT LOVE & LIFE!

人生をデザインするため、性を学ぼう。

法人概要

名称	NPO法人ピルコン Program for Ideal Life through Communication & Networking
ビジョン	誰もが自分らしく生き、性の健康と権利を実現できる社会
ミッション	・多様性を前提に、自分、他者の心と体を大切にできる ・十分な情報や支援をもとに、自分で自分の生き方が選択できる性の健康と権利について誰もが気軽に学べる、語り合える、相談でき、支援につながれる環境を実現すること
設立	2013年10月（2007年10月より活動開始）
理事長	染矢明日香
活動領域	東京・関東圏を中心とする日本全国



ピルコンが大切にしていること　"PILCONEY"

P ositive	性や自分の心・体を肯定的にとらえること
I nclusive	障害やあらゆるジェンダー、多様な人を包括する視点
L ove yourself	自己肯定と自己決定の尊重
C ollaboration	医療、教育、福祉、家庭、他関連団体との協働
O pen mind	オープンに、お互いを尊重し、対話を大切にすること
N o violence	あらゆる暴力・ハラスメントを認めないこと
E vidence based	科学的な情報に基づくこと
Y outh centered	若い人の声を聞き、取り入れること

代表挨拶

NPO法人ピルコンは、2007年の設立、また2013年の法人化し、2019年度は7期目となりました。今期は、これまで続けてきた性教育の講演活動に加え、性の健康と権利についての政策提言を引き続き行い、米国のNGOが企画・制作を行う性教育アニメAMAZEの日本語訳プロジェクトや、高等学校向け性の健康・リレーションシップ教育教材の開発などにもチャレンジしました。
そして、コロナ禍において、10代の妊娠不安に関する相談が急増しており、また性暴力やDVの増加も懸念される中、日本のSRHR（セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス＆ライツ/性と生殖に関する健康と権利）の課題は、浮き彫りになっています。日本のどこにいても、誰でも性の健康と権利を学べる社会の実現に向けて、子ども・若者たちや政治に関わる方も含め、性の健康と人間関係を学ぶことへの理解を深めていく重要性を実感しています。今後とも皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

NPO法人ピルコン　理事長　染矢明日香

目次

- 法人概要・代表挨拶　P2
- ピルコンの取り組む社会問題　P3
- 事業報告
- 【1】中高生向けプログラムLILY　P4
- 【2】保護者向け講演　P5
- 【3】政策提言　P6
- 【4】人材育成　P7
- 【5】教材製作・情報発信　P8
- 【6】自助グループ運営・相談支援　P9
- 執筆・メディア掲載　P10
- 2019年度 会計報告　P11
- ご支援のお願い　P12

ピルコンが取り組む社会課題

あなたにとって「性」とは、どんなイメージですか？

恥ずかしい、よくわからない、興味はあるけど聞きにくい、といった方もいるかもしれません。性は誰にとっても身近なものですが、きちんと話す機会は非常に限られています。その一方で、あやふやな性知識のため傷ついたり、誰にも相談できず悩む若者も少なくありません。性暴力、不充分な避妊による意図しない妊娠、それによる人工妊娠中絶、性感染症、そして将来的に不妊に悩むカップルの増加など、日本には性に関する課題が山積みです。

生まれてくる赤ちゃんの1/6の数が「産まない」選択をされています。

日本の中絶件数は約16万件。出生数の約1/6の数に及びます。

その内、10代の中絶件数は年間約1.3万件。1日に換算すると約40件となります。※1

若者に性感染症が広がっており、特に梅毒の感染者が急増しています。

10代～20代の若者に、梅毒などの性感染症が流行しています。自覚症状が乏しい性感染症が多いため、感染に気付かず人に感染させることや母子感染の可能性もあります。※2

SNSを通した10代の性被害過去最多になっています。※3

（※1）平成30年度厚生労働省「衛生行政報告例の概要」より （※2）厚生労働省「性感染症」より （※3）平成30年警察庁より

ピルコンの主な事業概要

ピルコンでは、国内外における包括的性教育やセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス＆ライツ（性と生殖に関する健康・人権）の施策に基づき、性の健康・リレーションシップ教育の講演活動や、教材製作、人材育成、情報発信、政策提言等の活動を行っています。

誰もが自分らしく生き、性の健康と権利を実現できる社会

事業１

中学・高校生向け 性教育プログラムの実施 （ピア・エデュケーション）

事業２

保護者・PTA向け 性教育講演

事業３

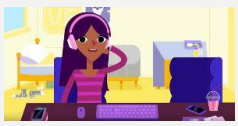
政策提言

事業４

人材育成 （フェロー育成）

事業５

教材製作・ 情報発信



事業6

自助グループ運営・ 相談支援

【中高生向け 性の健康・リレーションシップ教育プログラムLILY＜Link Life of Youth/リリー＞】若者たちと約8,000名の中高生、大学生に実施

中学生・高校生・大学生を対象に、自分の将来を守るために必要な性とライフプランニングの知識を大学生、若手社会人が身近な立場から、わかりやすく伝える出張授業を実施。同性代の若者ボランティアスタッフ「フェロー」が伝え、一緒に考える「ピア・エデュケーション」という手法を活用しています。

実績

2019年度は40名のフェローと合計で31校（施設含む）、約8,000名の中高生・大学生にLILYを実施し、通算でのべ200回以上、約32,000名の生徒にプログラムを届けました。

【2019年度　LILY実施校一覧】

中学校　4校（足立区立中学校、愛知県公立中学校
富士学苑中学高等学校、関西学院千里国際校）

高等学校　16校（長野県県立高校、神奈川県県立高校、
三田国際高等学校、柏木学園高等学校、京都工学院高等学校、
潤徳女子高等同学校、など）

大学・短期大学　10校（田園調布学園大学、東京経済大学、東京医科大学、上智大学、武蔵大学、東洋大学など）

その他施設　　5施設（心塾、子供の家、東京都八街学園など）

＼受講者の声／

受講者への事後アンケートでは、「講演が聞けてよかった」という生徒がほぼ全ての学校で9割を越えました。

受講者からの感想の一部を紹介します。

明るく話していて堅苦しい感じがしなかったので、最後までしっかりと聞けたし、聞けてよかったと思いました。性に関しては恥ずかしいからという気持ちが強かったけれど、向き合ったり重く受け止めなくていいのだと思えました。

初めて性の講演を聞いたけど、自分の知らない性についての話がたくさんあった。今回の講演を聞けてよかったと思う。

自分が知らない、たくさんの体験談をまじえながら聞くことができた。
相手に同意を取る大切さがわかった。

まだ先のことで自分は未成年だから、深く関係がないと思っていたけど、意外ともう関わっている時期が来たんだなと感じた。性についてこれからうまく付き合っていけたらと思った。

【保護者向け講演】性教育の現状と課題や、家庭における性教育についての講演をPTAや自治体からの依頼を受け、約1,000名を対象に実施

保護者を対象に、子どもたちが自分のからだを守り、性のトラブルを予防し、対処するための性の健康教育を学ぶ講演を実施しました。

実績

PTAや保護者会、自治体などから依頼を受け、2019年度は合計22回、約1,000名の保護者や地域の方へ講演を実施。通算でのべ100回以上、3,000名以上の方を対象に実施しました。

小学校・中学校PTA　8校

自治体主催（荒川区教育委員会、新宿区教育委員会、沖縄県子ども虐待予防推進事業、青梅市青少対三田地区委員会、多摩市児童青少年課等）5か所・7回

自主開催 7回（内、港区男女平等参画センターリーブラ助成事業4回）

その他、東京都助産師会、宝塚大学青少年エイズ対策研修事業、人権啓発東京講座、徳島県立人権教育啓発推進センター あいぽーと、NPO法人草奔の集い、埼玉子育て支援ネットワーク、NPO法人Teach for Japan、NPO法人ライトハウス等の研修事業における性教育の現状や課題についての講演も数多く実施しました。

また、港区男女平等参画センターリーブラによる助成事業では、性教育に関わる専門家3名を講師にお招きし、参加した保護者にも性教育についてのニーズ調査を実施し、声を伺いながら、時代にあった性の健康教育についての調査・分析も行いました。

＼受講者の声／

子どもへの性教育についての理解が深まり、前向きに取り組みたいという声を多くいただきました。

今回の講座に参加して本当に良かったです。「性教育」について、どうしたらいいのか、友達と話しても分からず、どうしようと思っていた時に、この講座の案内を見ました。社会全体で、正しい知識と意識を高める必要があると思うので、是非、小中高の学校の場でやってほしいです。そういう家庭が広がっていけば、傷つく人、傷つけてしまう人も減っていくのではと思います。

今回の講座を受けて、親もきちんと勉強しなければと痛感しました。まだ、早い話かなと思っていましたが、ちょうどいいタイミングであることに気づきました。学んだことを生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

盛りだくさんの内容でしたが、ご自身の体験や資料もまじえてわかりやすい言葉で話してくださったので、ついていけないことなく自分の中で消化しながら聞くことができました。ご紹介いただいた動画もとても良かったです。子どもとの会話や子どもと話せる関係性づくりにも活かしていきたいです。

【政策提言】緊急避妊薬のアクセス改善と包括的性教育の推進を求めるキャンペーンを展開

アフターピルを必要とするすべての女性に届けたい！

ピルコンは緊急避妊薬（アフターピル）のOTC化（薬局での販売）と諸外国との価格差をなくすことを求める活動を行っています。

活動の経緯

2017年　厚生労働省が緊急避妊薬のOTC化を見送り

2018年 9月　緊急避妊薬のアクセス改善を求める署名をオンライン署名Change.orgで開始
https://www.change.org/after-pill

2018年12月　ピルコンが第1回院内勉強会「生きづらさを抱える女の子たちの心と身体を守るには？性の健康の課題を語ろう！」を開催

2019年 1月　厚労省にて、緊急避妊薬のオンライン診療の検討開始

3月　ピルコンが第2回院内勉強会「緊急避妊薬のアクセス諸課題を考える」を開催

2019年3月　ジェネリック版の緊急避妊薬が発売開始

5月　ピルコンが第3回院内勉強会「緊急避妊薬の安全で迅速なアクセスの確保～オンライン診療の課題とこれからを考える～」を開催

6月　国会議員3名へ約3万名の賛同を得た署名提出

7月　厚生労働省が緊急避妊薬の初診からのオンライン診療を要件付きで承認

11月　ピルコンが第4回院内勉強会「子ども達の健やかな未来を守る、包括的性教育～大人がまず知っておきたいこと～」を開催

今後、厚生労働省、日本産科婦人科学会、日本薬剤師会等への署名提出を目指します。

【人材育成】17名の新フェローの育成を行いながら、若者とPILCON MEETUPの開催や世界エイズデー等でのアウトリーチなどの啓発活動を展開

ピルコンの活動に参画する若者ボランティアスタッフ「フェロー」新たに17名を迎え、40名のフェローと共に学び合いながら、若者向けの啓発活動を行いました。

イベント：PILCON MEETUPの開催

みんなで性のことを学び、考え、話せる場所をコンセプトに
ピルコンのスタッフ「フェロー」を中心となって、それぞれの性に関わる得意分野をテーマを取り上げ講義とディスカッションを行いました。
これまでに「性と向き合うコミュニティをつくるには？」「性の話を世間バナシに」「戦前の女性雑誌の内容から現代の性教育を考えてみよう！」「怖いだけじゃない性感染症の新しい学び方・教え方」「怖いだけじゃない性感染症の新しい学び方・教え方」「人権教育としての性教育って？」といったテーマで全5回実施し、のべ約100名の方に参加いただきました。

また、新宿2丁目のコミュニティセンターaktaとのコラボイベントとして、約30名が集い、性の健康啓発に携わるユースの活動発表・交流イベントも開催しました。

アウトリーチ①：渋谷駅前で恋みくじの配布

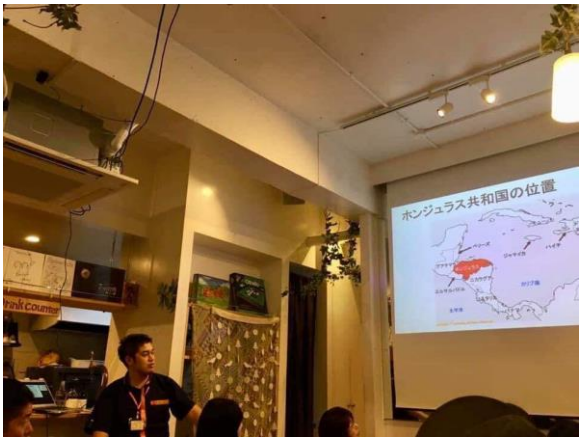
10連休となった2019年のゴールデンウィーク中に、医療機関の休診によって、アフターピル（緊急避妊薬）が入手しづらくなることを受け、令和の初日である5/1に巫女姿のピルコンスタッフが渋谷駅前でオリジナルの恋みくじ限定428(「しぶや」にちなみ)個を配布しました。
若者へのアウトリーチにより、緊急避妊薬や避妊の重要性・アクセス問題について興味を示してもらえたり、SNSでも反響があり、活動を応援する声も多くいただきました。

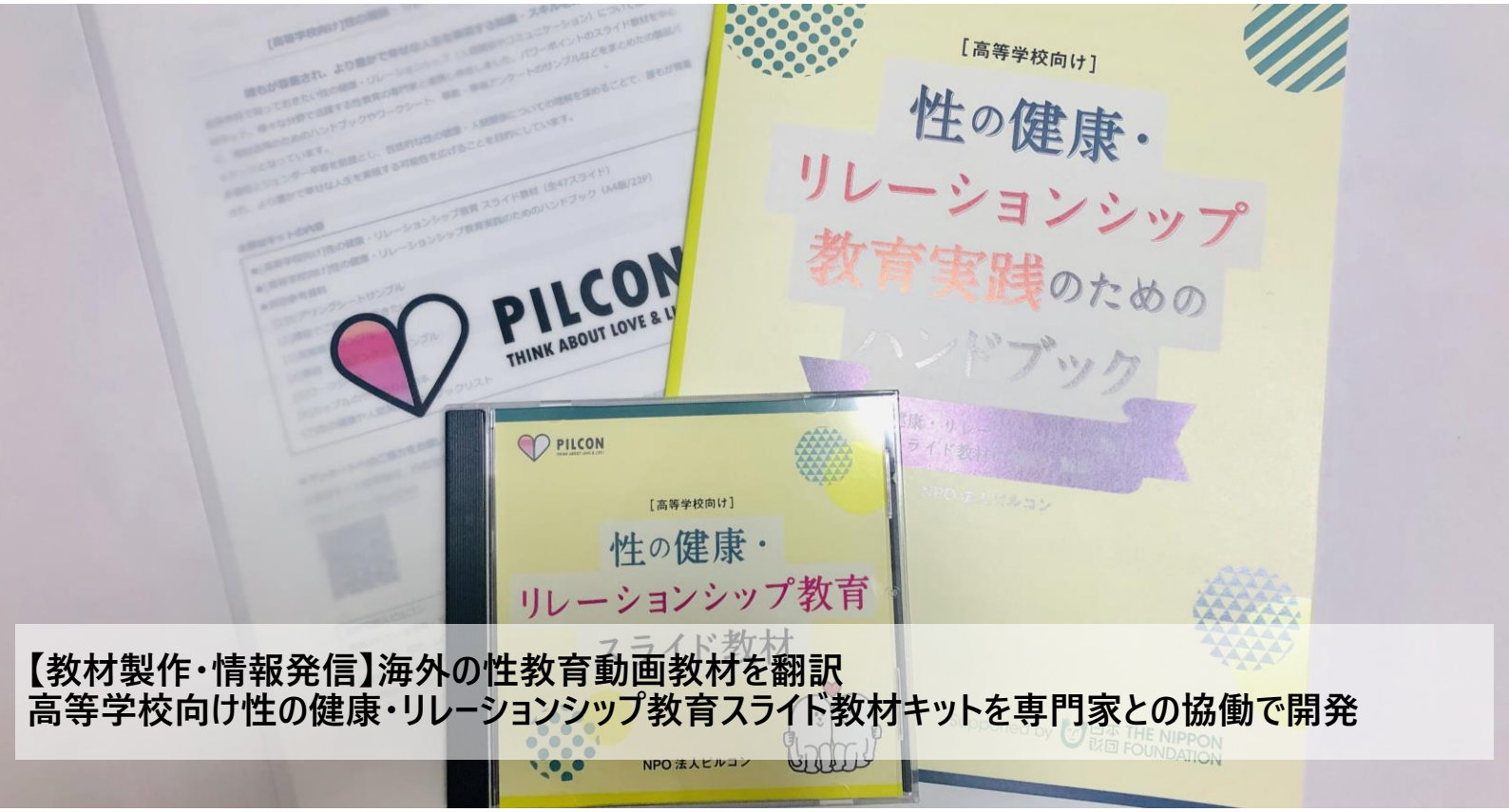
アウトリーチ②：世界性の健康デー

9月8日に開催された世界性の健康デー東京大会では、若者たちの声を集めて企画したコンドームや潤滑剤のサンプル、啓発冊子がセットになった「SAFER SEX KIT」を配布。当日のパネル討論「若者は草食化などしていない！？」では、ピルコンフェローが若者代表として参加しました。

アウトリーチ③：世界エイズデー

12月1日の世界エイズデーにちなみ、渋谷マークシティ前で啓発資材のサンプリングを行いました。
12月8日は東京都が運営するHIV/AIDS情報ラウンジ「ふぉー・てぃー」が主催する池袋エイズフェス'19にブースを出展しました。ブースでは、レッドリボンをモチーフにした特製タトゥーシールを貼って記念撮影ができるようにしました。また、「#もっと話そう性のこと」をつけて自分の想いと共にSNSでの発信も呼びかける企画をし、参加者を巻き込んだ啓発活動を展開しました。





【教材製作・情報発信】海外の性教育動画教材を翻訳
高等学校向け性の健康・リレーションシップ教育スライド教材キットを専門家との協働で開発

海外の性教育動画「AMAZE」の翻訳

日本で誰もが性を学べる環境を実現するため、アメリカのNGOが製作し、世界中で様々な言語に翻訳され活用されている性教育アニメ動画「AMAZE」の日本語訳を行いました。AMAZEは年齢に応じて、思春期、性の多様性、健康的な人間関係、避妊、性感染症など、性に関わるテーマを幅広く扱い、分かりやすくユーモアあふれるアニメで伝える性教育動画教材です。AMAZEの46本の動画を日本語訳と吹き替えを行い、ピルコンのウェブサイト上及びYouTubeに無料公開しました。

翻訳の資金として、クラウドファンディングにより、184名の支援者から1,401,500円（達成率114%）ものご支援をいただきました。

2020年2月には、翻訳した動画の発表会を開催。タレントの小島慶子さんとハフポスト日本版編集長竹下隆一郎さんをお招きし、これからの性教育について考えるイベント（オンラインで同時配信）も開催しました。

またピルコン教材のオンラインショップを開設し、AMAZEのDVDの他、家庭での性教育に関するパンフレットなどの販売も始めました。

【ピルコン教材購入サイト】

https://pilcon.thebase.in/

高等学校向け性の健康・リレーションシップ教育教材の開発

高等学校で知っておきたい性の健康・リレーションシップ（人間関係やコミュニケーション）について伝える教材キットを、様々な分野で活躍する性教育の専門家と連携し作成しました。パワーポイントのスライド教材を中心に、教材活用のためのハンドブックやワークシート、事前・事後アンケートのサンプルなどをまとめたの製品パッケージとなっています。

多様性とジェンダー平等を前提とし、思春期のからだとこころ、妊娠・避妊、性感染症、コミュニケーション・人間関係など、包括的な性の健康・人間関係についての理解を深める内容にまとめています。

【本教材キットの内容】

・[高等学校向け]性の健康・リレーションシップ教育スライド教材
・性の健康・リレーションシップ教育実践のためのハンドブック 他

【教材概要】

販売価格：4,400円（税込）＋送料

デザイン：チャリツモ

監修：今井伸（泌尿器科医）、遠見才希子（産婦人科医）

協力：遠藤まめた、大貫詩織、水野哲夫（50音順・敬称略）

助成：日本財団

【教材購入申し込みフォーム】

https://bit.ly/3agPbCu

中高生向け性教育サイト「セイシル」の制作協力

2019年12月にオープンした株式会社TENGAヘルスケアが企画・運営する中高生向け性教育サイト「セイシル」のアドバイザー及び制作協力を行いました。

【セイシル ウェブサイト】

https://seicil.com/

【自助グループ運営・相談支援】女性のためのセルフヘルプグループPERCHを開催
LINEボット「ピルコンにんしんカモ相談」、無料メール相談サービスを提供

女性のためのセルフヘルプグループPERCH

PERCH(パーチ)は、2016年からスタートした恋愛や性の傷つき体験や悩みを持つ女性が集まるグループミーティングです。

2019年度は月 1 回程度のペースで開催し、合計8回のミーティングにのべ70名が参加し、ブログで報告を行いました。

自助グループ立ち上げ・実施のためのガイドブックの販売も引き続き行いました。

（現在ピルコンオンラインショップ https://pilcon.thebase.in/

でも販売中）

今後は感染症対策のため、オンラインでの開催も実施していきます。

【PERCH ウェブサイト】

http://pilcon.org/activities/perch

【PERCH ブログ】

https://ameblo.jp/selfhelp-perch/

LINEボット「ピルコンにんしんカモ相談」

2019年1月に開発・提供開始をした妊娠の不安を抱える全ての人に、避妊や検査、支援先などの正しい情報を即座に自動応答で答えるチャットボット「ピルコンにんしんカモ相談」では、2020年3月現在、1万名に近い利用者にご利用いただいています。

ボットはLINEアプリでID検索（@ninshin-kamo）、
もしくはQRコードからお友だち登録が可能。

リッチメニューから妊娠についての相談の他、キーワード検索もできます。

【ピルコンにんしんカモ相談紹介ページ】

https://pilcon.org/help-line/contact/ninshin-kamo

ピルコンメール相談

また、ピルコンの助産師、保健師、看護大学生のフェローを中心に展開している無料メール相談は、2019年度、前年度の179件を大きく超える463件の相談に対応しました。コロナ禍において相談件数が更に増えており、2020年度は相談員の増員、研修の実施と相談マニュアルの見直し、アドバイザーの拡充などを行い、体制の整備に努めてまいります。

また、名刺2つ折りサイズの紹介カードを作成し、講演先やイベントで配布も行いました。

執筆・メディア掲載

NHK、Yahoo!ニュース、読売新聞、朝日新聞、日本経済新聞など数多くのメディアに取り上げられた他、多くのウェブメディアで執筆・情報発信を行いました。
主な掲載・出演情報を下記にまとめました。

【ウェブメディア】ビジネスインサイダー
まだ男子任せ？女子ももっと自分で避妊したいのに日本では認められていないのはなぜ？
【新聞】東京新聞
緊急避妊　初の国産後発薬　望まぬ妊娠　救う一歩
【新聞】毎日新聞
緊急避妊薬「入手しやすい環境を」　議員会館で緊急勉強会
【テレビ】NHKハートネットTV
「中絶という、痛み　見過ごされてきた心と体のケア」
【ウェブメディア】Yahoo!ニュース
緊急避妊薬オンライン処方「ただし性犯罪被害者に限る」は性被害者を救わない
【ウェブメディア】現代ビジネス
日本が人工妊娠中絶の「後進国」であるという悲しい事実 ※TBSラジオ出演番組より
【テレビ】MBS Newsミント
【特集】「アフターピル」を市販薬に…声をあげる女性たち
【ラジオ】NHKラジオ
ラジオ保健室10代の性　悩み相談
【テレビ】NHK ハートネットTV/#ジューダイ
イマドキカップルの恋愛事情　新常識からお悩みまで大調査！
【ウェブメディア】NHK 健康Ch
楽しく、ちゃんと “性”に向き合う！染矢明日香さんインタビュー
【新聞】読売新聞
ピルと向き合う＜１＞月経と重なり受験失敗
【新聞】朝日新聞
中高生への性教育を続けるＮＰＯ理事長　染矢さん
【新聞】日本経済新聞
緊急避妊薬、入手の壁なお高く　ネット処方解禁でも
【ウェブメディア】弁護士ドットコムニュース
「中学生を妊娠させてしまった」男子高校生のケースから考える「性教育」の必要性
【テレビ】NHK クローズアップ現代+
まさか家族が性暴力に・・・　身近に潜む被害
【テレビ】HAB 北陸朝日放送ニュース
「性教育」はタブー？若者に語り続ける女性
【ウェブメディア】KIDSNA
【学校では教えてくれない】子どもの性教育は幼児期から
【ウェブメディア】ひみつ基地
家庭や学校でも役立つ！性教育の無料動画「AMAZE」とは？－動画教材の活用で日本の性教育の未来が変わる！
【ウェブメディア】withnews
カルト2世だった私が直面した息子の「下ネタ」性の正しい伝え方、他

ピルコンを応援してくださる皆様

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

はじめてママ
初めてママになる人のための情報サイト

フェロー研修や勉強会、講演資料、教材の作成にご協力・アドバイスをいただいた先生方：
今井伸様（泌尿器科医）、遠見才希子様（産婦人科医）、遠藤まめた様（アクティビスト）、大貫詩織様（助産師）、
蓮尾豊様（産婦人科医・あおもり女性ヘルスケア研究所所長等）、清水信輔様（共立女子大学専任講師 等）、
土屋麻由美様（助産師）村瀬幸浩様（日本思春期学会名誉会員等）、水野哲夫様（大学・高校講師）、やまがたてるえ様（助産師）他
※2020年7月現在

2019年度 会計報告

活動計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

単位：円

科目			金額
Ⅰ　経常収益			
1　　受取会費		86,000	
2　　受取寄付金		2,790,058	
3　　受取助成金		5,554,554	
4　　事業収益		2,654,641	
5　　その他の収益		137,765	
経常収益計			11,223,018
Ⅱ　経常費用			
1　　事業費			
1.　給与手当	261,828		
2.　旅費交通費	2,759,314		
3.　新聞図書費	55,053		
4.　興行費	438,560		
5.　教育研修費	1,063,443		
6.　会議費	174,083		
7.　消耗品費	498,092		
8.　荷造運賃	155,390		
9.　広告宣伝費	1,755,644		
10.　通信費	104,403		
11.　支払手数料	104,800		
事業費計		7,370,610	
2．管理費			
1.　役員報酬	2,168,650		
2.　福利厚生費	641,950		
3.　会議費	41,988		
4.　広告宣伝費	10,720		
5.　通信費	103,826		
6.　支払手数料	5,954		
7.　租税公課	135,582		
管理費計		3,108,670	
経常費用計			10,479,280
法人税等			70,000
当期正味財産増減額			673,738
前期繰越正味財産額			1,018,359
次期繰越正味財産額			1,692,097

貸借対照表

2020年3月31日現在

単位：円

科目			金額
Ⅰ　資産の部			
1　　流動資産			
現金預金	3,639,079		
売掛金			
流動資産合計		3,639,079	
資産合計			3, 639,079
Ⅱ　負債の部			
1　　流動負債			
前受会費			
預り金			
未払金	1,946,982		
未払費用			
流動負債合計		1,946,982	
負債合計			1,946,982
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,018,359	
当期増減正味財産額		673,738	
正味財産合計			1,692,097
負債及び正味財産合計			3,639,079

ご支援のお願い

NPOピルコンでは、若者の性の問題について、正しい性の知識と判断力を育む支援により、これからの世代が自分らしく生き、豊かな人間関係を築ける社会の実現を目指す活動をしています。
ご寄付だけではなく、活動や若者を取り巻く状況を知っていただくこと、周りの方に伝えていただくことも大きなご支援だと私達は考えています。皆様からのご協力、お待ちしています。

ピルコンの活動に参加する

●ピルコンのイベントに参加する
ピルコンは1〜2ヶ月に1度ほど一般の方にもご参加いただける勉強会やイベントを開催しています。
▶詳細はピルコンHP「イベント情報」をご覧ください。

●ピルコンの事業に参画する
ピルコンでは、教育現場での講演活動や広報をサポートしてくださるボランティア（フェロー）やインターン、プロボノを募集しています。
▶詳細はピルコンHP「ボランティア参加・寄付」をご覧ください。

●ピルコン会員になる
会員の方にはピルコン主催のイベントのお知らせ、ご優待や、活動報告書のご送付などの特典をご用意しています。
個人会員 一般：入会金2,000円 年会費3,000円
学生：入会金1,000円 年会費2,000円
法人・団体会員 入会金5,000円 年会費50,000円　▶詳細ピルコンHP「ボランティア参加・寄付」をご覧ください。

寄付をする

●マンスリーサポーター
1日33円（月1,000円）から継続的なご寄付をいただくサポートシステムがHPよりお申込みいただけます。
クレジットカードでのお支払いが可能です。
毎月3,000円（1日100円）のご寄付で… 中高生対象の性教育プログラムを1回実施することができます。
毎月10,000円（1日340円）のご寄付で… 運営ボランティアを4名育成することができます。
▶マンスリーサポーターのお申込みはピルコンHP「ボランティア参加・寄付」をご覧ください。

●任意の金額でのご寄付
3,000円以上のご寄付をいただいた方には活動報告書（年1回発行）をお送りいたします。

＜振込口座のご案内＞
ゆうちょ銀行 ※他行からお振込みの場合
店名・店番：018（ゼロイチハチ） 普通 4488995 トクヒ）ピルコン
※ゆうちょ銀行からお振込みの場合
記号：10140 番号：44889951 トクヒ）ピルコン
お振込みいただいた方にはお礼と活動報告をご送付させていただきますので、お名前・ご連絡先、ご送付先をピルコン<info@pilcon.org>までご連絡ください。

教材･グッズを購入する

ピルコンが企画・開発をした教材やグッズをオンラインショップでご購入いただけます。
▶ https://pilcon.thebase.in/

PILCON
THINK ABOUT LOVE & LIFE!

http://pilcon.org/
Facebook：https://www.facebook.com/npopilcon/
Twitter：@pilc0n
Instagram：@npopilcon